

2020年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 国際学専攻 選抜区分 一般

科目名 ヨーロッパ地域研究 記載者氏名 _____

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

解答例

〈1〉

コジモの孫ロレンツォ・デ・メディチは人文主義的教育を施され、祖父から文化と芸術を重視することを学んだ。彼は生涯にわたって芸術的並びに文化的事業に時間と配慮そして多大な金銭を費やした。彼はミケランジェロの才能を見出すとともに、フィレンツェ人に対して、ラウレンツィアーナ図書館のような書物の多大な蓄積を残したのであった。

〈2〉

サヴォナローラの説教を聞いた多くのフィレンツェ人は、シャルル8世こそは、〈悪の王国〉に終止符を打つべきものとして、彼の祈りにおいてこの修道士により〈主の剣〉と呼ばれた、正しき懲罰に他ならないと確信したのであった。

〈3〉

16世紀フィレンツェの思想家N・マキアヴェッリの軍事観はその著『戦争の技法』に最も総合的に提示されているが、『君主論』『ディスコルスィ』においても、政治観との関連の観点からいくつかの記述がある。その要点は15世紀イタリアにおける標準的軍事制度であった傭兵制を否定と、それに代わる徴兵制の導入にあった。有事にのみ雇用する傭兵隊の活用は、領域が狭小で経済活動に基盤を置くルネサンス期イタリアの都市国家にとり効率的な軍事制度であったが、国防の手段を独自の利害と意志を持つ傭兵隊長に依存することは、その統制に関し雇用主である都市国家の側に多大の困難を生じさせるばかりか、フランチェスコ・スフォルツァのミラノ征服の例にうかがわれるように、それへの過度の依存が傭兵隊による都市国家の乗っ取りを生じさせる危険をはらむものでもあった。

また政治権力の成立根拠としての固有の軍事力の欠如はマキアヴェッリによれば、内政的にも支配下の諸地域の政府への服従を不安定なものとし、平時にあっても政府の政策を強力に推進しえないばかりか、イタリア戦争時のイタリアのごとき非常時の到来に際しては国家の分裂を、ひいては敵対国の介入による国家の崩壊をもたらしかねない弱点であった。フィレンツェの政治改革者サヴォナローラを念頭になされた、「武器なき預言者は没落する」という彼の言葉は、軍事力の欠如による政治権力のこうした弱体化を示唆している。

こうした内政と国防両面における欠陥の克服策としてマキアヴェッリにより提唱されたのが、古代ローマ軍に範をとった徴兵軍の創出に他ならない。政府はこうした独自の武力を保有することにより、統治下の諸地域をいっそう緊密に支配することに成功するとともに、かかる緊密な支配網に基づく国家の統一を通じ、外敵に対するより強靱な抵抗力を獲得することに至る。だがこうした軍役の負担を、従来のごとき多様個別の権利を有した諸地域・諸団体の集積体としての、中世的国家に要求することは困難である。こうした多様性を打破し、臣民の権利の平等に基づく均質な一円領域支配こそが、軍役という彼らに対する負担を平等に要求する徴兵制導入の前提かつ帰結とならざるを得ない。即ち徴兵制という独自の軍事観を媒介に、マキアヴェッリは近代集権国家の思想的先駆者となったのである。

2020 年度金沢大学大学院人間社会環境研究科（博士前期課程）

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 国際学専攻 選抜区分 一般
科目名 日本語教育学・日本語学 記載者氏名 _____

解答例又は出題意図

I 用語選択問題

(1) 話し言葉の特徴と日本語教育

話し言葉はその場での伝達が重視され、1 回限りで言い直しがきかないことが大きい特徴である。また相づちやうなずき、視線などの非言語行動が伝達に重要な意味を持つことが多い。文の形式面では文法的な正確さがないことも多く、省略や言いさし、縮約形などが現れるのも特徴である。日本語教育における初級段階の会話授業では既習の文型の定着を目指す活動が中心に行われるが、中級や上級とレベルが上がるにしたがい、話し言葉の特徴を含んだ自然なコミュニケーションを扱うことが増えていく。

(2) イメージョン教育

学習しようとする目標言語で、その目標言語だけでなくすべての教科を学ぶ教育方法を指す。ある言語の環境に学習者を浸す (immerse) という意味であり、例えば、英語を学ぼうとしているのであれば英語を使って英語を学び、さらに英語を数学や理科なども学ぶような教育方法である。

(3) 協働学習

他の学習者と互いに協力しながら一つの課題に取り組む学習を指す。日本語教育の場でも、日本語を用いて他の学習者と対話を重ねながら学び合うことで、日本語の運用力だけでなく、異なる文化や価値観への理解、自己をモニターする力などが得られる。さらに、従来のような知識を一方向的に注入される教育では得られない、主体的に学習を行う力の養成にもつながる。

(4) CBI (Content-Based Instruction)

第二言語を用いて内容を学習者に教える過程において、目標言語を媒介として用いることで目標言語を習得させようとする教授法。例えば、「日本の食文化」というテーマの内容を、目標言語である日本語を用いて読解、聴解、やりとりなどの言語学習を行うことで、日本語能力を育成することを目指す。

(5) 最近接発達領域 (Zone of Proximal Development)

学習者や子どもが、現在いる発達段階に近接したすぐ上の発達領域のことを指す。周囲にいる他者 (教師、自分よりできる仲間など) の助けを借りれば次の発達段階に属する課題を遂行できる場合、その学習者は最近接発達領域にいると考えることができる。

(6) 継続動詞と瞬間動詞

語彙的アスペクトに着目した動詞の分類で、「ている」形にしたときに進行相になるのが継続動詞、結果相になるのが瞬間動詞である。前者の例には「走る」「話す」、後者の例には「届く」「消える」などがある。両者にまたがる動詞も多く、「割れる」は、「ガラスが音を立てて割れている (進行相)」という継続動詞としても、「ガラスが粉々に割れている (結果相)」という瞬間動詞としても解釈可能である。

(7) 敬意通減の法則

もともとは敬意を含んでいた言葉が使用を重ねるうちに敬意の意味が薄れていく言語変化の傾向。本来敬語であった「貴様」「お前」が、現代では相手を見下す乱暴な言葉になっているといった例がこれにあたる。また、「お召し上がりになる」などのいわゆる二重敬語の使用や、「花に水をあげる」などに見られる「あげる」の非謙譲語的使用も敬意通減の結果と考えることができる。

(8) 有生（有情）性

生きている程度を表す語彙・文法カテゴリー。一般に有生性のない対象は他動詞の主語（動作主）にはしにくいため、文法的にはその対象が関係する動詞や格表示などに影響を与えることがある。日本語では有生性がかかわる代表的なものに存在動詞「いる」と「ある」があり、有生性が高いものには「いる」、低いものに「ある」が用いられる。

(9) 共鳴音と阻害音

共鳴音は発音する際に口腔内気圧があまり上がらない音。鼻音、流れ音、半母音など。阻害音は発音する際に口腔内気圧が上がる音。閉鎖音、摩擦音、破擦音などが該当する。共鳴音か阻害音かで日本語の音象徴が異なるという研究成果もある。

(10) 拘束形態素

語を構成する最小単位である形態素の中で、単独で語を形成することができず、語として自立するためには他の形態素と共に用いる必要のあるもの。代表的なものに接辞がある。接辞には「無関係」の「無」のような接頭辞、「関係性」の「性」のような接尾辞がある。

II 論述問題

1. 日本は今後、さまざまな背景の外国人が増えることが予想されています。まずこの状況について説明しなさい。そしてこのような状況において、「やさしい日本語」とは何かを説明したうえで、「やさしい日本語」の役割を論じなさい。

評価基準

- 1 日本における背景の異なる外国人増加の現状と今後が説明されているか。
 - 2 「やさしい日本語」についての説明が的確になされているか。
 - 3 今後の日本の外国人受け入れの状況において、「やさしい日本語」の役割が論述されているか。
 - 4 学術分野の論述における的確な論理構成や語彙表現の使用がなされているか。
2. 第二言語習得における「習得順序」と「発達順序」について、その違いを、日本語習得の具体例を示しつつ説明しなさい。

評価基準

- 1 「習得順序」と「発達順序」それぞれの定義が正しく説明されているか。
 - 2 「習得順序」の日本語習得における妥当な具体例が示されているか。
 - 3 「発達順序」の日本語習得における妥当な具体例が示されているか。
 - 4 学術分野の論述における的確な論理構成や語彙表現の使用がなされているか。
3. 研究者の内省に基づく研究方法の利点と限界について複数の観点から論じなさい。また、内省に基づく研究方法の限界を克服する方法としてどのような研究方法があるか、あなたの考えを述べなさい。

評価基準

- 1 研究者の内省に基づく研究方法とは具体的にどのような研究方法かが説明されているか。
 - 2 研究者の内省に基づく研究方法の利点と限界について適切な事例を挙げながら複数の観点から論述されているか。
 - 3 研究者の内省に基づく研究方法以外の具体的な研究方法が挙げられているか。
 - 4 3で挙げた研究方法が，2で指摘した限界をどのように克服しうるかについて具体的に述べられているか。
-
4. 日本語学習者が日本語を産出する際に，不自然な産出になりやすい日本語の言語形式を一つとりあげ，習得上の困難点の生じる原因について論じなさい。論じる際にはその言語形式に関する以下の①～④に言及しなさい（順序は問わない）。
 - ① 言語形式に関する規則
 - ② 先行研究
 - ③ 日本語学習者の産出困難点
 - ④ 産出困難点が生じる原因

評価基準

- 1 言語形式の説明が適切にできているか。
- 2 これまでの研究成果にもとづいて論じられているか。
- 3 日本語学習者の実際の使用傾向や困難点などについて説明ができているか。
- 4 産出困難点が生じる原因についてある程度論拠に伴った説明ができているか。

学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 国際学専攻 選抜区分 一般

科目名 日本文化学 記載者氏名 _____

解答例又は出題意図

問題 I 用語選択問題

B(11) 日本的経営

日本は第二次世界大戦で大敗したにも関わらず、1955年以降、高度経済成長と呼ばれる状況となった。その理由として日本的経営が挙げられる。日本的経営の特徴は、終身雇用制・年功序列・企業別労働組合の3点にある。これにより社員は会社を自分のイエと見なすようになった。日本的経営は江戸時代以来のものではなく、1940年以降の戦時体制において形成されたものが、戦後の労働運動によって定着したものである。

B(12) 穢れと祓え

罪とケガレとは近代においては区別されるが、原始社会では同一の範疇であった。日本においてケガレているものへの忌避は厳しい。例えば、別火の風習がこれに当たる。子供の遊びのエンガチョは大人社会のケガレを模倣したものである。ケガレは消されるものでなく、流されるものである。ケガレを流すことはハラエと呼ばれる。

B(13) 土居健雄『甘えの構造』

土居は、『菊と刀』に触発されて同書を書いた。土居は「甘え」を日本人の独特のものとする。土居の言う「甘え」は相手に取り入る心理であり、幼兒的依存と同じものとされる。西洋流の自我の確立が理想とされた時代に、自己と相手との関係を大事にする日本を描き出した点は評価されるが、結果的に幼兒的依存と同種の「甘え」を日本のイデオロギーとした点など批判すべき点も多い。

B(14) エズラ・ヴォーゲル『ジャパン・アズ・ナンバーワン』

1979年という日本の輸出攻勢がアメリカで問題化した時期に書かれた本である。同書は、日本文化論ではなく、戦後の日本システムを論じたものである。また、タイトルから分かる通り、日本を文字通り No.1 としている訳では無く、日本から学ぶべき点もあるという立場である。具体的には官僚制度、日本的経営、教育などである。

B(15)『風姿花伝』

世阿弥が書いた、能楽の理論書である。「花」をキーワードに修行の階梯などが組織的に論ぜられている。日本最古の演劇理論書であるが、多くの人に読まれるようになったのは明治時代以降である。明治時代の日本では、日本の芸能は欧米より劣ったものと見られていたが、同書の発見によって、中世に既に高度な演劇理論があったとされるようになり、「劣った日本」を見直す端緒の一つとなった。

問題Ⅱ 論述問題

B5 「日本人の他界観は、一般に①山中他界観、②海上他界観、③地中他界観の混在と言われている。このことについて、あなたの考えを述べなさい。」

評価基準

- 1 通説を形成する3つの他界観を理解しているかどうか。
- 2 通説を肯定するにしても否定するにしても、具体的な論拠を使って論じているかどうか。
- 3 歴史的に論じても良いし、現代に絞っても良い。

問題Ⅱ

B6 「柳田国男は方言周圏論を唱えたが、民俗要素も周圏論が当てはまることがあると考えていた。このことについて、あなたの考えを述べなさい。」

評価基準

- 1 柳田の言う、方言周圏論を理解しているかどうか。
- 2 民俗要素に関し、全国的な視点をもって普段より研究しているかどうか。
- 3 上記の知識を論述に生かしているかどうか。

専攻名 国際学専攻 選抜区分 外国人留学生特別選抜
科目名 日本語教育学・日本語学 記載者氏名 _____

解答例又は出題意図

I 用語選択問題

(1) 話し言葉の特徴と日本語教育

話し言葉はその場での伝達が重視され、1 回限りで言い直しがきかないことが大きい特徴である。また相づちやうなずき、視線などの非言語行動が伝達に重要な意味を持つことが多い。文の形式面では文法的な正確さがないことも多く、省略や言いさし、縮約形などが現れるのも特徴である。日本語教育における初級段階の会話授業では既習の文型の定着を目指す活動が中心に行われるが、中級や上級とレベルが上がるにしたがい、話し言葉の特徴を含んだ自然なコミュニケーションを扱うことが増えていく。

(2) イマージョン教育

学習しようとする目標言語で、その目標言語だけでなくすべての教科を学ぶ教育方法を指す。ある言語の環境に学習者を浸す (immerse) という意味であり、例えば、英語を学ぼうとしているのであれば英語を使って英語を学び、さらに英語を数学や理科なども学ぶような教育方法である。

(3) 協働学習

他の学習者と互いに協力しながら一つの課題に取り組む学習を指す。日本語教育の場でも、日本語を用いて他の学習者と対話を重ねながら学び合うことで、日本語の運用力だけでなく、異なる文化や価値観への理解、自己をモニターする力などが得られる。さらに、従来のような知識を一方向的に注入される教育では得られない、主体的に学習を行う力の養成にもつながる。

(4) CBI (Content-Based Instruction)

第二言語を用いて内容を学習者に教える過程において、目標言語を媒介として用いることで目標言語を習得させようとする教授法。例えば、「日本の食文化」というテーマの内容を、目標言語である日本語を用いて読解、聴解、やりとりなどの言語学習を行うことで、日本語能力を育成することを目指す。

(5) 最近接発達領域 (Zone of Proximal Development)

学習者や子どもが、現在いる発達段階に近接したすぐ上の発達領域のことを指す。周囲にいる他者 (教師、自分よりできる仲間など) の助けを借りれば次の発達段階に属する課題を遂行できる場合、その学習者は最近接発達領域にいると考えることができる。

(6) 継続動詞と瞬間動詞

語彙的アスペクトに着目した動詞の分類で、「ている」形にしたときに進行相になるのが継続動詞、結果相になるのが瞬間動詞である。前者の例には「走る」「話す」、後者の例には「届く」「消える」などがある。両者にまたがる動詞も多く、「割れる」は、「ガラスが音を立てて割れている (進行相)」という継続動詞としても、「ガラスが粉々に割れている (結果相)」という瞬間動詞としても解釈可能である。

(7) 敬意逡減の法則

もともとは敬意を含んでいた言葉が使用を重ねるうちに敬意の意味が薄れていく言語変化の傾向。本来敬語であった「貴様」「お前」が、現代では相手を見下す乱暴な言葉になっているといった例がこれにあたる。また、「お召し上がりになる」などのいわゆる二重敬語の使用や、「花に水をあげる」などに見られる「あげる」の非謙讓語的使用も敬意逡減の結果と考えることができる。

(8) 有生（有情）性

生きている程度を表す語彙・文法カテゴリー。一般に有生性のない対象は他動詞の主語（動作主）にはしにくい。文法的にはその対象が関係する動詞や格表示などに影響を与えることがある。日本語では有生性がかかわる代表的なものに存在動詞「いる」と「ある」があり、有生性が高いものには「いる」、低いものには「ある」が用いられる。

(9) 共鳴音と阻害音

共鳴音は発音する際に口腔内気圧があまり上がらない音。鼻音、流れ音、半母音など。阻害音は発音する際に口腔内気圧が上がる音。閉鎖音、摩擦音、破擦音などが該当する。共鳴音か阻害音かで日本語の音象徴が異なるという研究成果もある。

(10) 拘束形態素

語を構成する最小単位である形態素の中で、単独で語を形成することができず、語として自立するためには他の形態素と共に用いる必要のあるもの。代表的なものに接辞がある。接辞には「無関係」の「無」のような接頭辞、「関係性」の「性」のような接尾辞がある。

II 論述問題

1. 日本は今後、さまざまな背景の外国人が増えることが予想されています。まずこの状況について説明しなさい。そしてこのような状況において、「やさしい日本語」とは何かを説明したうえで、「やさしい日本語」の役割を論じなさい。

評価基準

- 1 日本における背景の異なる外国人増加の現状と今後が説明されているか。
 - 2 「やさしい日本語」についての説明が的確になされているか。
 - 3 今後の日本の外国人受け入れの状況において、「やさしい日本語」の役割が論述されているか。
 - 4 学術分野の論述における的確な論理構成や語彙表現の使用がなされているか。
2. 第二言語習得における「習得順序」と「発達順序」について、その違いを、日本語習得の具体例を示しつつ説明しなさい。

評価基準

- 1 「習得順序」と「発達順序」それぞれの定義が正しく説明されているか。
 - 2 「習得順序」の日本語習得における妥当な具体例が示されているか。
 - 3 「発達順序」の日本語習得における妥当な具体例が示されているか。
 - 4 学術分野の論述における的確な論理構成や語彙表現の使用がなされているか。
3. 研究者の内省に基づく研究方法の利点と限界について複数の観点から論じなさい。また、内省に基づく研究方法の限界を克服する方法としてどのような研究方法があるか、あなたの考えを述べなさい。

評価基準

- 1 研究者の内省に基づく研究方法とは具体的にどのような研究方法かが説明されているか。
 - 2 研究者の内省に基づく研究方法の利点と限界について適切な事例を挙げながら複数の観点から論述されているか。
 - 3 研究者の内省に基づく研究方法以外の具体的な研究方法が挙げられているか。
 - 4 3で挙げた研究方法が、2で指摘した限界をどのように克服しうるかについて具体的に述べられているか。
-
4. 日本語学習者が日本語を産出する際に、不自然な産出になりやすい日本語の言語形式を一つとりあげ、習得上の困難点の生じる原因について論じなさい。論じる際にはその言語形式に関する以下の①～④に言及しなさい（順序は問わない）。
 - ① 言語形式に関する規則
 - ② 先行研究
 - ③ 日本語学習者の産出困難点
 - ④ 産出困難点が生じる原因

評価基準

- 1 言語形式の説明が適切にできているか。
- 2 これまでの研究成果にもとづいて論じられているか。
- 3 日本語学習者の実際の使用傾向や困難点などについて説明ができていますか。
- 4 産出困難点が生じる原因についてある程度論拠に伴った説明ができていますか。

専攻名 国際学専攻 選抜区分 外国人留学生特別選抜

科目名 日本文化学 記載者氏名 _____

解答例又は出題意図

問題 I 用語選択問題

B(11) 日本的経営

日本は第二次世界大戦で大敗したにも関わらず、1955年以降、高度経済成長と呼ばれる状況となった。その理由として日本的経営が挙げられる。日本的経営の特徴は、終身雇用制・年功序列・企業別労働組合の3点にある。これにより社員は会社を自分のイエと見なすようになった。日本的経営は江戸時代以来のものではなく、1940年以降の戦時体制において形成されたものが、戦後の労働運動によって定着したものである。

B(12) 穢れと祓え

罪とケガレとは近代においては区別されるが、原始社会では同一の範疇であった。日本においてケガレているものへの忌避は厳しい。例えば、別火の風習がこれに当たる。子供の遊びのエンガチョは大人社会のケガレを模倣したものである。ケガレは消されるものでなく、流されるものである。ケガレを流すことはハラエと呼ばれる。

B(13) 土居健雄『甘えの構造』

土居は、『菊と刀』に触発されて同書を書いた。土居は「甘え」を日本人の独特のものとする。土居の言う「甘え」は相手に取り入る心理であり、幼児的依存と同じものとされる。西洋流の自我の確立が理想とされた時代に、自己と相手との関係を大事にする日本を描き出した点は評価されるが、結果的に幼児的依存と同種の「甘え」を日本のイデオロギーとした点など批判すべき点も多い。

B(14) エズラ・ヴォーゲル『ジャパン・アズ・ナンバーワン』

1979年という日本の輸出攻勢がアメリカで問題化した時期に書かれた本である。同書は、日本文化論ではなく、戦後の日本システムを論じたものである。また、タイトルから分かる通り、日本を文字通り No.1 としている訳では無く、日本から学ぶべき点もあるという立場である。具体的には官僚制度、日本的経営、教育などである。

B(15)『風姿花伝』

世阿弥が書いた、能楽の理論書である。「花」をキーワードに修行の階梯などが組織的に論ぜられている。日本最古の演劇理論書であるが、多くの人に読まれるようになったのは明治時代以降である。明治時代の日本では、日本の芸能は欧米より劣ったものと見られていたが、同書の発見によって、中世に既に高度な演劇理論があったとされるようになり、「劣った日本」を見直す端緒の一つとなった。

問題Ⅱ 論述問題

B5 「日本人の他界観は、一般に①山中他界観、②海上他界観、③地中他界観の混在と言われている。このことについて、あなたの考えを述べなさい。」

評価基準

- 1 通説を形成する3つの他界観を理解しているかどうか。
- 2 通説を肯定するにしても否定するにしても、具体的な論拠を使って論じているかどうか。
- 3 歴史的に論じてもいいし、現代に絞っても良い。

問題Ⅱ

B6 「柳田国男は方言周圏論を唱えたが、民俗要素も周圏論が当てはまることがあると考えていた。このことについて、あなたの考えを述べなさい。」

評価基準

- 1 柳田の言う、方言周圏論を理解しているかどうか。
- 2 民俗要素に関し、全国的な視点をもって普段より研究しているかどうか。
- 3 上記の知識を論述に生かしているかどうか。